

魂の工サ

藤久
燈果

頭のとっぺんに大きな口を開けて

吐かれた言葉と

選ばれた言葉を

がしゃがしゃ 音を立てて噛み砕く

吐かれた言葉に萎えながら

反芻した言葉は

消えない強さを遺し

身体を透過していく

二本の足で地面に立つわたしは

言葉を食べ生きてる

言葉を並べて生きている

わたしはいつも 腹が空いている